

沖縄 9 離島及びへき地対策

施策				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

診療病院は、機能を充実させて、放射線治療を除く、手術療法（大腸、乳房、胃、前立腺、子宮、皮膚）と薬物療法（大腸、肺、乳房、胃、前立腺、肝及び肝内胆管、子宮、膵臓、胆嚢及び胆管、皮膚、血液）に関しては標準治療が行えるようにする				
	(離島・へき地部会によるアンケート調査) がん種ごとの手術、薬物療法の標準治療が可能な診療病院の割合			
専門医療機関（含む拠点病院）と離島及びへき地の医療機関（含む診療病院）は、地域連携バスの利用を徹底することにより、離島およびへき地のがん患者さんのフォローアップは、地元の診療所ないしは診療病院で行うようにする				
	(離島・へき地部会によるアンケート調査) 経過観察等で地元に戻ったがん患者の割合（難しければ実数） *代替指標候補 ・がん治療連携計画策定料1 ・がん治療連携計画策定料2 ・がん治療連携指導料 ・がん治療連携管理料 ・外来がん患者在宅連携指導料			

離島及びへき地の医療機関は、すべてのがん患者に対し、地元の診療病院で可能な治療内容について情報提供を行う				
	(離島・へき地部会によるアンケート調査) 離島へき地のがん患者さんに対して、地元でできるがん治療について十分な説明があった患者の割合（診療病院の患者さんに対する患者体験調査）			
県は県診療連携協議会と共同で、がんの診断、治療、経過観察、在宅医療が可能かどうかを、毎年調査し、その結果をすべての医療機関と共有する				
	(離島・へき地部会によるアンケート調査) 調査結果を医療機関と共有した割合			
県は県診療連携協議会と共同で、市町村、地区医師会、診療病院と協力し、上述の調査結果をウェブサイト公開するとともに、冊子にまとめて毎年無料配布を行い、その内容を理解する県民の増加に務める				
	(県民世論調査) 地元でできるがん医療について知識を持っている住民の割合 (県庁およびがんじゅうのウェブサイトの更新割合) (冊子の更新割合、発行部数)			

中間アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

離島・へき地に住む患者さんが、地元の医療機関で標準治療が受けられる環境が整っている				
院内がん登録	地元の診療病院で、手術療法（大腸、乳房、胃、前立腺、子宮、皮膚）と、薬物療法（大腸、肺、乳房、胃、前立腺、肝及び肝内胆管、子宮、膵臓、胆嚢及び胆管、皮膚、血液）の治療を受けた患者の割合			
患者体験調査 (%) (2018年)	成人問20-12 紹介先の医療機関を支援なく受診できたと思う人（転院したことがある人）	83.4	80.9	NA
	成人問20-13 希望通りの医療機関に転院することができた人（転院したことがある人）	79.2	85.7	NA

離島及びへき地のがん患者は、すべてのがん患者に対し、地元の診療病院で可能な治療内容について情報提供を行う				
離島・へき地のがん患者が、地元でできるがん治療についての十分な知識を持ったうえで、自らが治療する医療施設を選択している				
患者体験調査 (%) (2018年)	成人問15-1 決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた人	75.2	71.4	NA
	成人問15-2 納得いく治療選択ができた人	79.6	79.3	NA

最終アウトカム				
指標番号	指標	全国	沖縄	二次医療圏

離島およびへき地のがん患者が、安心・安全・適切な医療を受けられている				
全国がん登録	北部、宮古、八重山医療圏および本島周辺離島のがん患者の5年相対生存率			NA
患者体験調査 (%) (2018年)	成人問23 がんの診断・治療全般に関する総合的な評価の平均点	8.0点	8.4点	NA
	成人問20-10 これまで受けた治療に納得している患者の割合	成人 77.3	成人 85.4	NA

県と市町村は協力して、離島・へき地のがん患者に対して、がん診療のための渡航費や交通費及び宿泊費を助成する  
 (離島患者が治療のための本島へ渡る際にかかる渡航助成金の増額)  
 (離島僻地在住のがん患者に対するホテル宿泊支援の充実)

①補助を行っている市町村の割合			
②市町村補助金決算額			
③補助金交付人数			

県は、琉球大学病院（または拠点病院）の近くに、離島及びへき地の患者や家族の宿泊施設の整備を検討する（整備を行う）

宿泊施設の整備について公的な委員会等で検討した回数（拠点病院近くに整備された施設数）			
--	--	--	--

離島・へき地のがん患者が、十分な経済的支援が受けられている

全国がん登録	交通費および宿泊費補助を受けている患者の割合			
患者体験調査 (%) (2018年)	成人問18 治療費用の負担が原因で、治療を変更または断念したことがある人	5.0	4.0	
	成人問19 医療を受けるための金銭的負担が原因で生活影響があった人	27.1	37.1	